先人から現代…未来へ！ 豊かな安曇野 うるおす「じっか」

拾ケ堰（じっかせぎ）の言われ

拾ケ堰とは当時の吉野村、成相町村、新田町村（以上 豊科）、上堀金村、下堀金村（以上 堀金）、矢原村、柏原村、保高村、保高町村、等々力町村（以上 穂高）の10か村をうるおしたことから「拾ケ堰」と名付けられました。

安曇野をうるおす拾ケ堰の歴史

文化12年（1815年）測量の様子

安曇野といえば、北アルプスの山並みとその麓に広がる田園風景を思い浮かべることができるでしょう。この安曇野の米作りを支えているのは、網目のように張り巡らされた農業用水路・堰で、最大規模の拾ケ堰は文化13（1816）年に農民らが切り開き、地域の人たちが維持に関わって平成28年に200年を迎えました。

複合扇状地である安曇野の大半を占める扇央部分は水の確保が難しく、開墾して田園地帯とするには、農業用水を用水路により引水する必要がありました。

平安時代後期から鎌倉時代にかけて、安曇野では標高差を利用する縦堰の開削が始まり、堰の周辺には集落ができてきましたが、烏川扇状地の扇央にあたる穂高周辺は江戸時代後期になっても水が乏しく、農民たちは生活に苦しみ、なんとかして水を引きたいと考えていました。そんな農民の声に応えるべく立ち上がったのが、柏原村の等々力孫一郎や中島輪兵衛らでした。

等々力らは水量が豊富で安定している奈良井川に目を付け、梓川を渡り、標高570㍍の等高線に沿って安曇野を横切って烏川に合流する総延長15㌔のコースを設定しました。

松本藩からの許可が下りると、9人の手による最終的な測量を18日間で終え、文化13（1816）年2月に始まった開削工事を、延べ6万7112人が力を合わせて、わずか3ヶ月間という驚異的な速さで完了しました。

そして堰流域の10か村をうるおすことから「拾ケ堰」と名付けました。

（写真・監修：長野県拾ケ堰土地改良区）

近代の改修工事

安曇野には網の目のように堰が張り巡らされ、堰や河川との交差が多いことも拾ケ堰の特徴の一つです。梓川は当初、横断水路で横切りましたが、大正9（1920）年に初代地下水路（サイフォン）が造られ、さらに平成10（1998）年には梓川河床直下12㍍に現在使われている新サイフォンが完成しました。

複雑な安曇野一帯の水利権は、それぞれの組合が適切に管理運営しています。拾ケ堰を管理運営するのは長野県拾ケ堰土地改良区で、地域ごとの水利権に基づいて水門の管理や調整をしています。

また、改修をかさねることで拾ケ堰は排水の受け皿にもなり、安曇野にはなくてはならない地域のシンボルになっています。地元の小学校では毎年社会見学を実施するなど、より地域の人々の生活に密接に関わっています。

大正時代のサイフォン工事

馬蹄形のコンクリート管 φ3.3m

梓川サイフォンの仕組み

シールドマシーン

大正時代の頭首工水門

そして今に受け継がれて

拾ケ堰の完成により、既存の縦堰の水に余裕ができたことで拾ケ堰より上段の塚原、上原地区にも水田が作られることになり、集落が成立しました。このように拾ケ堰は、直接的にうるおすかんがい地域以外の開発にも貢献しました。

現在の安曇野市の農地面積を見ると、耕地面積における田耕地面積の割合・水田面積率は78.3%と高く、米作りが盛んである事がわかります。堰の維持管理は受益者が応分負担しています。

拾ケ堰は松本市島内の取水口から安曇野市穂高の烏川との合流部までの15㌔を、1㌔で30㍍ほど下がりながらゆるやかに流れ、現在は850㌶の水田をうるおします。堰沿いには自転車専用道路も整備され、農業用水路の一方で、今後は観光資源としての「拾ケ堰」利用も考えられていくことでしょう。

奈良井川頭首工の管理棟（制御装置）

頭首工の上空から北を望む
奈良井川から分かれて安曇野に向かう堰の流れがわかる

拾ケ堰の歩み

1816年（文化13年）	等々力孫一郎や中島輪兵衛らが中心となり、2月に工事が始まり5月に完成
1920年（大正9年）	梓川伏越工事により旧サイフォンが完成
1960年（昭和35年）	昭和25年に始まった大改修工事「大規模県営灌漑排水事業」が完了
1989年（平成1年）	昭和58年から始まった国営「ため池等整備事業」が完了
1993年（平成5年）	平成2年から4年の工期で頭首工が可動堰方式に全面改修
1998年（平成10年）	旧サイフォンの直下で、梓川河床から12㍍の深さのところに長さ353mの現在のサイフォンが完成
2000年（平成12年）	「県営ため池等整備事業」による965㌶の水路改修工事が完成
2005年（平成17年）	平成8年に始まった国営安曇野農業水利事業 拾ケ堰排水工事が完成
2006年（平成18年）	農林水産省が全国の農業用水路の中から選定する「疎水百選」に認定
2011年（平成23年）	11月15日、皇太子殿下が安曇野広域排水事業所を訪れ拾ケ堰をご視察
2015年（平成27年）	平成22年度に始まった「県営がんかい排水事業」が完成し全区間の改修工事が終了

夏 Summer

秋 Autumn

冬 Winter

〈発行〉安曇野市観光情報センター
〒399-8303 長野県安曇野市穂高5952-3 ☎0263-82-9363
2016.10発行

A Start（Goal） JR大糸線 島内駅

1㎞ Walk…… 約15min Bicycle… 約4min

B 拾ケ堰頭首工
平成5年に完成した可動堰方式の頭首工。ここから奈良井川の水を取り入れます。

1.4㎞ Walk…… 約30min Bicycle… 約7min

C 平瀬橋
奈良井川と拾ケ堰が平行に流れ、いよいよ梓川をくぐるサイフォンへと流れて行きます。

0.3㎞ Walk…… 約5min Bicycle… 約2min

D 梓川サイフォン
梓川の河床直下12mを通るサイフォン。平成10年に改修工事が竣工しました。

0.1㎞ Walk…… 約2min Bicycle… 約1min

E あづみ野橋
歩行者専用の橋が梓川にかかり、安全に渡ることができます。あづみ野やまびこ自転車道です。

0.5㎞ Walk…… 約8min Bicycle… 約2min

F 梓川サイフォン出口
353mのサイフォンを通り抜けた水は、いよいよ安曇野の穀倉地帯をうるおし始めます。

0㎞ Walk…… 約0min Bicycle… 約0min

G シールドマシーンフェイス
梓川の厳しい土質条件下、右岸から左岸へ353mを刃口交換なしに掘り進み貫通させた最前部です。

1.6㎞ Walk…… 約20min Bicycle… 約7min

H 豊科南部総合公園 toilet
テニスコートのある大きな公園です。トイレ、東屋もあり、くつろげる休憩ポイントです。

1.6㎞ Walk…… 約20min Bicycle… 約7min

I 鳥羽の竣工記念碑
昭和35年の県営改良工事の竣工碑。当時の農林大臣の福田赳夫氏の書です。

0.7㎞ Walk…… 約10min Bicycle… 約4min

J じてんしゃひろば toilet
昔ながらの拾ケ堰の柳の木を残し、東屋やトイレもあります。きれいな田園風景の絶好のポイントです。

1.3㎞ Walk…… 約20min Bicycle… 約6min

K 中堀公園 toilet
遊戯施設、東屋、トイレもある小さな公園です。ここで江戸時代に新田開発された中堀を横切ります。

0.6㎞ Walk…… 約10min Bicycle… 約4min

L 万水川とクロス
万水川の上を拾ケ堰が流れます。川の流れが複雑でおもしろい地点です。

0㎞ Walk…… 約0min Bicycle… 約0min

数字で見る拾ケ堰

- 新造時の事業費／816両
- 奈良井川頭首工可動堰／高さ3.67m 幅28mの巨大な扉が3基
- 奈良井川頭首工可動堰による貯水量／14万7500㎥
- 梓川サイフォンの延長＝399m（地下12mに外径3.68m 内径2.8mの管路を埋設）
- 水路の最大幅／12m
- 取水量／ 代かき期（5月1～10日）毎秒7.543㎥ かんがい期（5月11日～9月30日）毎秒6.996㎥ 非かんがい期（10月1日～翌年4月30日）毎秒2.290㎥
- 主な分水口（堰からの水の取り出し口）／94カ所
- 交差している道路橋＝64橋（長野自動車道の立体交差を含む。7橋は「拾ケ堰橋」という同じ名前）
- 交差している鉄道橋＝1橋（三郷明盛のJR大糸線）

M 拾ケ堰開削200年記念碑
1816（文化13）年に工事が始まり、開削200年を記念して建てられた記念碑です。

1㎞ Walk…… 約15min Bicycle… 約4min

N 上堀の景観重点区間
堰は西から北へ向かいます。通称「大曲り」。穏やかな拾ケ堰の流れを楽しみながら気持ちよく歩けます。

0㎞ Walk…… 約0min Bicycle… 約0min

O 練石積み
景観重点区間として、自然石を使用し、昔ながらの練石積みを再現しました。とてもきれいな石積みです。

1.3㎞ Walk…… 約20min Bicycle… 約8min

P 下堀公園 toilet
下堀の諏訪神社参道と交わる地点にあり、涼しい木陰でひと休みできます。トイレ、東屋もあります。

0.1㎞ Walk…… 約3min Bicycle… 約1min

Q 北村の道祖神と津島様
左の石造物上部の祠は津島様（津島神社）。信仰の祭神は牛頭天王で穢（けがれ）を祓（はら）う神様とされています。

0.3㎞ Walk…… 約5min Bicycle… 約3min

R 下堀調整堰
取水量や排水量を自動で調整します。様々な水門は拾ケ堰全体で94カ所もあります。

1.1㎞ Walk…… 約20min Bicycle… 約5min

S かみはらばし
拾ケ堰と平行に走る、あづみ野やまびこ自転車道には木造の橋が幾つも架かっています。

1.6㎞ Walk…… 約20min Bicycle… 約8min

T 田中の道祖神
田中集落の近くの橋のたもとにきれいに彩色された道祖神が祀られています。

1㎞ Walk…… 約15min Bicycle… 約4min

U 本郷調整堰
通水期間の朝4～5時、水配人が夜間にゲートに溜まったゴミを取り除くのも仕事です。

0.5㎞ Walk…… 約10min Bicycle… 約3min

V 放水口
富田橋上流で烏川に一気に流れ込んで、拾ケ堰15㎞の水の旅は終わります。

1.5㎞ Walk…… 約20min Bicycle… 約8min

W Goal（Start） JR大糸線 穂高駅 toilet